

エコアクション 2 1 環境経営レポート



活動期間（2023 年 4 月～2024 年 3 月）

[作成日：2024 年 6 月 26 日]

グリーン・エコ株式会社



（当社は 2022 年 4 月に「ちば SDGs パートナー」に登録しました。本文中、ちば SDGs での取組には  を表示しています）

1. 環境経営方針

《経営理念》

当社の環境事業(産業廃棄物収集運搬、廃棄物及び資源物活用コンサルティング、古物商)を通し、お客様をはじめ全ての関わる方々と真摯な姿勢で対応することにより形成される相互の信頼関係をベースに、企業の成長・発展を図るとともに、全従業員の物心両面の幸福を追求します。

《環境経営方針》

経営理念を業務遂行の羅針盤として、当社の環境事業における環境経営の継続的改善を実践し、循環型社会の形成及び地球温暖化防止に貢献することを目指します。

- (1)当社に關係する環境関連法規制等を遵守します。
- (2)受託する廃棄物の再資源化を推進します。
- (3)二酸化炭素排出量削減に取り組むとともに、省エネを推進します。
- (4)経営における課題とチャンスを踏まえ、経営の改善に努めます。

当社の環境経営方針は、社内に掲示し、全ての従業員に周知します。

制定：2017年1月1日

改定：2021年4月1日

グリーン・エコ株式会社

代表取締役 田淵 浩太

2. 組織の概要

- ・組織名 : グリーン・エコ株式会社
- ・代表者 : 代表取締役 田淵 浩太
- ・法人設立年月日 : 平成 24 年 4 月 11 日
- ・資本金 : 1,000 万円
- ・本社機能所在地 : 千葉県千葉市若葉区更科町 1640-1
- ・登記上本社所在地 : 千葉市若葉区千城台北 3 丁目 19 番 1 号
- ・環境管理責任者 : 統括リーダー 秋葉 勝也
- ・担当者連絡先 : 043-312-5858
- ・FAX 番号 : 043-312-5859
- ・e-mail : info@green-eco-kk.com
- ・homepage : <https://www.green-eco-kk.com>
- ・事業内容 : 産業廃棄物収集運搬、廃棄物及び資源物活用コンサルティング、古物商

3. エコアクション 2 1 認証・登録対象範囲

当社の全事業所及び全事業活動において、エコアクション 2 1 活動を行っています。

(1) 対象事業所

本社・更科 ECO BASE : 千葉県千葉市若葉区更科町 1640-1

(2) 対象事業活動

産業廃棄物収集運搬、廃棄物及び資源物活用コンサルティング、古物商

4. 許認可等の状況

自治体	許可番号	許可年月日 許可有効年月日	廃棄物の種類									
			汚 泥	廃 油	廃 酸	廃 アル カリ	廃 プ ラ ス チ ッ ク 類	紙 く ず	木 く ず	動 植 物 性 残 渣	金 属 く ず	ガ ラ ス く ず・ コン ク リ ー ト く ず 及 び 陶 磁 器 く ず
千葉県 ☆	1200177153	令和元年6月17日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		令和8年4月17日	*3*5*7	*3*5*7	*3*5*7	*3*5*7	*1*3*2 *7	*3*5*7	*3*5*7	*3*5*7	*1*3*2 *7	*1*3*2 *7
東京都	1300177153	令和2年7月10日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		令和7年7月9日										*2
神奈川県 ☆	1400177153	平成29年4月12日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		令和11年4月11日	*3	*3	*3	*3	*3	*3	*3	*3	*3	*3
埼玉県 ☆	1100177153	令和3年5月11日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		令和10年5月1日	*2*3*7	*3*5*7	*3*5*7	*3*5*7	*3*5*7	*3*5*7	*3*5*7	*3*5*7	*2*3*7	*2*3*7
茨城県	00801177153	令和2年11月5日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		令和7年7月14日	*5*7	*5	*5*7	*5*7	*1*2*3				*1*2	*1*2*3
栃木県	00900177153	令和3年9月8日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		令和8年9月7日	*2*7	*5	*5*7	*5*7	*1*2*3				*1*2	*1*2*3

☆環境省優良産業廃処理業者認定

- *1 自動車等破砕物を除く
- *2 水銀使用製品産業廃棄物を含む
- *3 石綿含有産業廃棄物を除く
- *5 水銀使用製品産業廃棄物を除く
- *7 水銀含有ばいじん等を除く

5. 事業規模

- ・敷地面積 本社・駐車場 : 5,888 m²
- ・従業員数 : 22 人
- ・売上高 (3 月決算) : 620 百万円 (2023 年 4 月～2024 年 3 月)
(内訳)収集運搬 605 百万円、コンサル 45 百万円、古物商 16 百万円
- ・産業廃棄物収集運搬量 : 19,697 トン

6. 車両の状況

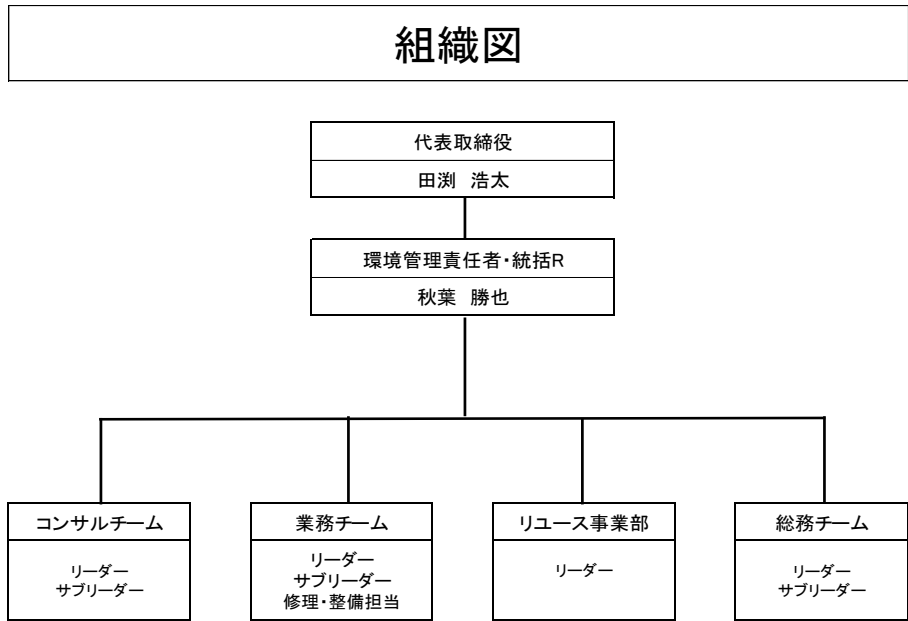
- ・2トンパッカー車 1 台
- ・3トンウイング車 1 台
- ・3トン平ボディ車 1 台
- ・3トンパッカー車 1 台
- ・4トンアームロール車 2 台
- ・4トンパッカー車 2 台
- ・6トンウイング車 2 台
- ・6トンアームロール車 3 台
- ・8トンアームロール車 3 台
- ・10トンダンプ車 3 台
- ・軽トラック 1 台

7. 環境負荷の状況

項目	単位	2021 年度	2022 年度	2023 年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	355,461	440,803	451,435
産業廃棄物収集運搬量	トン	18,911	20,481	19,697

平成 27 年度実績二酸化炭素排出係数（東京電力エナジーパートナー調整後排出値）（0.491kg-CO₂/kWh を使用）

8. 環境組織図



《役割・責任》

社長	環境方針の策定 代表者による環境システム全体の見直し 必要な経営資源(設備・人材等)の投入
環境管理責任者・統括R	環境経営システムの確立・実施・維持 代表者見直し時に環境活動状況報告
コンサルチーム	チーム内の環境目標への取組実施 産業廃棄物収集運搬契約書の締結・管理、顧客調整
業務チーム	チーム内の環境目標への取組実施 産業廃棄物収集運搬の実施 車輛・コンテナ等の修理・整備 駐車場の管理
リユース事業部	チーム内の環境目標への取組実施 リユース品の買取・販売 アップサイクルプロジェクトの推進
総務チーム	チーム内の環境目標への取組実施 マニフェスト、帳簿、実績報告の管理 配車依頼の受発注

グリーン・エコ株式会社

令和4年4月1日現在

9. 2023 年度環境目標結果

項目	基準年度 基準値	目標値	2023 年度 実績値	評価 注 2	
収集運搬量 1 トン当 たりの軽油使用量削減	2022 年度 8.22 ℓ/トン	基準値比 3.5%向上 4.98km/L	8.72 ℓ/トン	×	基準比 6.1%、目標比 7.1%オーバーとなり、目標未達。処分場への遠距離運搬が目標未達の原因と考えられる。
運搬車両燃費向上	2022 年度 4.81km/L	基準値比 3.5%向上 4.98km/L	4.95km/L	△	基準比 2.9%向上したが、目標比 0.6%悪化し、目標未達。毎日、車両ごとの燃費算出により、意識が向上し定着したが、僅かに目標未達となった。
電力使用量削減	2021 年度 11,345kWh	基準値比 6.5%削減 10,608kWh	11,571kWh	×	基準比 2.0%、目標比 9.1%オーバーとなり、目標未達。夏期・冬期のエアコンの利用を減らすことが難しく、目標未達となった。
紙使用量削減	2022 年度 44,600 枚	基準値比 3.5%向上 4.98km/L	48,095 枚	×	基準比 7.8%、目標比 10.1%増加となり目標未達。電子化が進まなかった。
収集運搬量拡大 	2018 年度 9,255 トン	基準値比 116%向上 20,000 トン	19,698 トン	△	基準比 113%向上したが、目標比 1.5%目標未達。汚泥が 70.5%、動植物性残渣が 21.3%を占め、これらに特化した営業強化の効果が大きかった。
収集運搬先処分場の リサイクル率向上 	2020 年度 95.5%	基準値比 3.5%向上 4.98km/L	95.6%	△	基準比 0.1 ポイント向上したが、目標比 1.4 ポイント低下し、目標未達。処分場への遠距離運搬を避ける排出事業者があったことが、目標未達の原因である。
リユース品の 売上高向上 	2021 年度 429 万円	基準値比 366%向上 2,000 万円	1,594 万円	×	基準比 271%向上したが、目標比 20.3%目標未達。 12 月までは僅かな目標未達で推移したが、1 月に担当者が退職したことにより年度末には大幅な目標未達となった。

注 1：平成 27 年度二酸化炭素排出係数（東京電力エナジーパートナー調整後排出値）0.491(kg-CO₂/kWh)を使用

注 2：5%以上目標達成（◎）、5%未満目標達成（○）、5%未満目標未達（△）、5%以上目標未達（×）

10. 環境活動内容と取組結果の評価

環境目標	環境活動内容	取組結果	評価
収集運搬量 1トン当たりの 軽油使用量 削減	燃費向上	比較的重量物の汚泥、動植物性残渣の収集運搬が増え、燃費としては悪化した。	3
	収集ルート効率化	配車担当者2名、各ドライバー、営業担当とのコミュニケーションにより効率化ができた。	5
	定期収集の見直し・効率化	ルート回収に組み込んだ収集先が増加し、毎月のミーティングで見直し、効率化が図れた。	5
	毎日、車両ごとの燃費算出	ドライバーごとの燃費算出が徹底できた。	5
	エンジンオイルの適正化	計画通り、適正オイルへの変更を進めた。	5
	燃費グラフによる意識向上	計画通り実施し、意識付けを図った。	5
運搬車両 燃費向上	エコドライブ手順の配布、携行	エコドライブ手順を配布し、ドライバーに携行してもらい、意識付けを図った。	5
	車両整備(月1回)	日常点検の充実を図り、故障の早期発見に努めた。	5
	毎日、車両ごとの燃費算出	ドライバーごとの燃費算出が徹底できた。	5
	エンジンオイルの適正化	計画通り、適正オイルへの変更を進めた。	5
	燃費グラフによる意識向上	計画通り実施し、意識付けを図った。	5
電力使用量 削減	エアコンの設定温度 (夏季27度、冬季20度)	徹底できた。	5
	節電啓蒙ラベル貼付	スイッチに啓蒙ラベルを貼付し、意識付けに努めた。	5
	パソコン、コピー機節電モードの実施	節電モードに設定した。	5

環境目標	環境活動内容	取組結果	評価
紙使用量削減	ファックスの電子化	プリントアウトの習慣を変えるのが難しく、徹底できなかった。	2
	請求書の電子化	約 60%の顧客で電子化が進んだ。	3
	ミスコピーの削減	パソコン画面の確認が徹底され、ミスコピーが削減された。	5
収集運搬量の拡大	廃棄物及び資源物活用コンサルティングの提案推進 新規の契約数：月 2 件 売上目標：3,000 万円	収集運搬の営業活動で、廃棄物の有効利用、リユースの提案を継続して行った。 新規の提案・契約数は 4.4 件/月と活発だったが、売上高は 2,462 万円と目標未達であった。	4
	収集運搬担当者必要員数の確保	要員不足の場合は、アルバイト等でカバーしながら、不足が生じないように確保できた。	5
収集運搬先処分場のリサイクル率向上	顧客へのリサイクル提案	千葉県内の動植物性残渣、汚泥のリサイクル処分場の処分能力が逼迫しているため、その関係の提案を控えた。 一方、動植物性残渣を単純焼却からバイオマス燃料として使用する処分への提案は継続した。	3
リユース品の売上高向上	ネット販売	ヤフーショッピング、メルカリ、ジモティ、Instagram、自社ホームページ等を活用した。	5
	アップサイクル品の拡大	新しく、家具、室内装飾品、食品関係等で拡大に努めた。	3
	アップサイクルの提案推進 (5 件/月)	イベントへの参加をメインに推進したが、売上高拡大への貢献は僅かに終わった。	3
環境経営目標に策定しなかった項目	二酸化炭素排出量測定 産業廃棄物排出量測定 一般廃棄物排出量測定	3 項目の測定を毎月実施した。二酸化炭素排出量は収集運搬量増加に伴い、増加したが、当社で排出した産業、一般廃の量は特に異常はなかった。	5

(評価点) 5 点：90%以上 4 点：70%以上 3 点：50%以上 2 点：30%以上 1 点：30%未満

(スケジュールに対する進捗度等の対計画比で評価する。)

11. 環境活動イベント・地域活動

～県内災害廃棄物回収へ参加～



社内希望者を募って、災害廃棄物の収集運搬に参加しました

～京葉銀行 CHIBA SDGs Parklet Project～



今年度も引き続き参加しました！

取り組みに賛同頂いた排出事業者様にも協力を頂き、廃棄物を再利用した様々なアップサイクル商品の開発に挑戦☆

12. 代表者による全体の評価と見直し

2024 年 4 月 11 日に代表者による全体の評価と見直しを実施し、環境経営方針、実施体制、経営資源、環境経営システムは変更なし、環境経営目標、環境経営計画、その他の指示事項については次の通りであった。

前年度まで事業活動も順調に拡大してきており、目標も高めの設定で活動してきたが、EA21 に取組開始してから初めて収集運搬量が減少した。また、動残・汚泥搬入先への遠距離運搬も少なからず影響し、目標未達の結果となった。今年になってから遠距離運搬も解消し、今年度は通常の事業活動となることが予想されるため、2022 年 4 月に策定した 3 ヶ年計画をベースに今年度の目標を次の通り設定したい。

（１）環境経営目標

- (a) 運搬車両燃費向上は、対象車両が前年度 16 台から 15 台に減少するので、15 台の燃費に計算し直し、目標値を設定すること。
- (b) リユース品の売上高向上は、リユース事業を関係会社に移管するので、目標から外すこと。
- (c) 収集運搬先処分場のリサイクル率向上は、動植物性残渣、汚泥のリサイクル処分場の処分が逼迫しており、変更提案が難しい状況なので、目標から外すこと。
- (d) 収集運搬量 1 トン当たりの軽油使用量削減、運搬車両燃費向上、電力使用量削減、紙使用量削減、収集運搬量拡大は 3 か年計画の通りとする。

（２）環境経営計画

前年度の計画を引き続き設定すること。また、その他の環境活動は二酸化炭素排出量、産業廃棄物排出量、一般廃棄物排出量の測定を継続すること。

（３）その他の代表者の指示事項

- (a) 2025 年度より課題とチャンスに関する目標に取り組めるよう、具体的テーマを検討すること。
- (b) これまで社外の洗車施設を利用していたが、社内でも洗車ができるように洗車施設を検討すること。

13. 環境目標 3 か年計画(2024 年 4 月見直し)

項目	単位	基準年度 基準値	目標値		
			2022 年度	2023 年度	2024 年度
収集運搬量 1 トン当たりの 軽油使用量削減	ℓ/トン	2018 年度 8.30	2018 年度 基準値比 12.5%削減 7.26	2022 年度 基準値比 1%削減 8.14	2022 年度 基準値比 2%削減 8.06
		2022 年度 8.22			
運搬車両燃費向上(注 1)	km/ℓ	2021 年度 4.99	2021 年度 基準値比 1%向上 5.04	2022 年度 基準値比 3.5%向上 4.98	2023 年度 基準値比 1%向上 5.07
		2022 年度 4.81			
		2023 年度 5.01			
電力使用量削減	kWh	2021 年度 11,345	基準値比 1%削減 11,232	基準値比 6.5%削減 10,608	基準値比 8%削減 10,437
紙使用量削減	枚	2022 年度 44,600 枚		基準値比 2%削減 43,700	基準値比 4%削減 42,800
収集運搬量拡大 	トン	2018 年度 9,255	基準値比 116%向上 20,000	基準値比 125%向上 20,824	基準値比 130%向上 21,287
収集運搬先処分場のリサイクル率向上 	%	2020 年度 95.5	基準値比 1 ポイント向上 96.5	基準値比 1.5 ポイント向上 97.0	
リユース品の売上高向上 	万円	2021 年度 429	基準値比 50%向上 644	基準値比 366%向上 2,000	

- (注 1) 運搬車両燃費向上：2023 年度は 16 台を対象にした取組でしたが、2024 年度は 2023 年度で毎月の燃費が算出されている 15 台を対象とした取組です。
- (注 2) 二酸化炭素排出量削減目標：収集運搬量拡大目標により軽油使用量及び二酸化炭素排出量が増加するため、目標は設定せずに基準値及び前年度と比較評価します。
- (注 3) 一般廃棄物排出量の削減は、これ以上の削減が難しいため、2020 年度より環境目標から除外しましたが、今後も廃棄物の分別を徹底して減量化に努めることとします。
- (注 4) 産廃の排出量は少ないため、削減目標は設定しませんが、今後も分別を徹底して減量化に努めることとします。
- (注 5) 化学物質は使用していないため、削減目標に取り組んでいません。
- (注 6) 地下水を使用していますが、浄化槽で使用しているだけで使用量を把握していないため、削減目標に取り組んでいません。今後も節水に努めることとします。

14. 2024 年度の環境活動内容

環境目標項目	環境活動内容
収集運搬量 1 トン当たり の軽油使用量削減	燃費向上 収集ルート効率化 定期収集の見直し・効率化 毎日、車両ごとの燃費算出 エンジンオイルの適正化 燃費グラフによる意識向上
運搬車両燃費向上	エコドライブ手順の配布、携行 車両整備(月 1 回) 毎日、車両ごとの燃費算出 エンジンオイルの適正化 燃費グラフによる意識向上
電力使用量削減	エアコンの設定温度(夏季 27 度、冬季 20 度) 節電啓蒙ラベル貼付 パソコン、コピー機節電モードの実施
紙使用量削減	ファックスの電子化 請求書の電子化 ミスコピーの削減
収集運搬量拡大	廃棄物及び資源物活用コンサルティングの提案推進 収集運搬担当者必要員数の確保
環境経営目標に策定しな かった項目の環境活動	二酸化炭素排出量測定 産業廃棄物排出量測定 一般廃棄物排出量測定

15. 環境関連法令の遵守状況の確認

当社に適用される環境関連法令について、6月、8月、10月、11月、12月、3月、4月に、それぞれの直近で該当する法令の遵守評価を実施し、問題ありませんでした。また、過去3年間に違反及び訴訟はありません。

当社に適用される主な環境関連法令は次の通りです。

- ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律
- ・自動車NO_x、PM法
- ・道路交通法
- ・道路運送車両法
- ・特定家庭用機器再商品化法
- ・使用済自動車の再資源化等に関する法律
- ・労働安全衛生法
- ・浄化槽法